



# まきたま

8/15



飯豊町萩生

西山 俊一氏

## 獅子舞を後世に残していく

飯豊町萩生の西山俊一さん（諏訪神社宮司）に、話を伺いました。

「伝統を守って、形をそのまま残していくことは大変なことです。「小さなお宮のお祭りなのに、8月16日の前夜祭には、200人も氏の人が行列に参加して、近郷にもない賑やかなお祭りがよく続いている」と言われます。戦後は祭りの行列も出来なくなる神社が多かったが、当地区は祭り建元は部落毎、毎年持ち回りで、戸主が必ず参加し、獅子役は専属にして、若い人たちは、奴、鳥毛、高張提灯など役割分担をして参加し、一戸から祖父、父、孫の三世代で参加している家もあります。こうして、祭りに参加することで、地域の輪が広がっていきます。

太鼓や笛の音を聞くと、わくわくして落ち着かなハ、真以をして踊ったりして、子供の頃から獅子舞に憧れている人が、大人になっても獅子舞に参加しています。これからも、地域の伝統行事になっていく荒獅子祭りを、後世まで大切に残していきたいですね。」

と、話してくださいました。

# ごみを楽しく減らすぞう！

ごみの処理には、多くの手間とお金がかかっています。ごみを減らすことで、家計への負担を軽減し、ごみ処理場を一日でも長く使うことができます。ごみを減らす工夫として、3つのRがあります。リデュース（Reduce）は、ごみになるものを減らすこと。リユース（Reuse）は、不要になったものを再利用すること。リサイクル（Recycle）は、再利用可能な資源を回収し、原料として再利用すること。この3つのRを実践している団体を紹介します。

## マイバッグ運動を広めていく

米沢市消費生活研究会（米沢市）

代表 志賀かよ子さん

米沢市消費生活研究会は、発会して今年で25年目を迎え、60人で活動されています。マイバッグ運動は、平成11年から取り組み、水に強く、どの家庭にもある古い傘布に着目し、マイバッグを作り、色々な所で展示したり、体験発表



マイバッグの展示会の様子

をするなど、普及にも努めています。

マイバッグ以外にも、ジーパンや着物の生地を使って花のブローチを作ったり、アクリルの毛糸で編んだアクリルたわしを作ったり、エタタノ、帯、織物工房で余った生地でも巾着を作ったりと、生地を無駄にしない活動をされています。

毎回の会合で、アイデアを出し合ったり、実際に作ってみたり、置場以外のリサイクル団体とも交流会をしたりと、精力的に活動されています。

「リサイクルは、手間ひまを考えると、とても割りのいいものではないませんが、これからはマイバッグ運動を続けていきます。」と話してくださいました。

## 商店街から環境問題に取り組む

高島町商工会女性部（高島町）

女性部長 稲田智子さん

高島町商工会女性部は、町内の女性100人で、平成12年から環境に優しい活動をされています。ゴミ減量のためマイバッグ（エコバッグ）を広める活動から始まり、今では、家庭油を協力加盟店で回収して、粉石けんをつくったり、ゴミ収集車や児童館の車の燃料にしたりするためのお手伝いをしています。

また、植物油を使用したアクリルの毛糸で浜田広介先生の童話に出てくる赤鬼と青鬼の顔に編んだアクリルたわしを作る活動もされています。

今年の6月13日には、年に2回粗大ゴミの回収や環境問題へ

の取り組みをされているのが認められ、「山形県地区衛生組織連合会会長表彰」を受賞されました。「毎回の会合で色々な意見が出て、とても楽しく活動しています。新しいことにどんどん取り組んでいきたいと思えます。」と話してくださいました。



高島町のイベントに参加した様子

白椿リサイクル会（飯豊町）

代表者 相馬キミ子さん

伊藤 綾子さん

白椿リサイクル会は、60、70代の方々25人で活動されています。粉石けんを作る石けんハウスがあり、学校給食共同調理場や各家庭から出た廃油を集め、専用の機械を使って粉石けんを作って、実際に使ってもらおう活動をされています。最近では「よく汚れが落ちて、手荒れしにくい」と、近所の商店でも使われているそうです。

また、ぼかし肥料を利用して、なす、キャベツ、ごまがいもなどの無農薬野菜を作って、学校給食や地元の人に食べてもらう活動もされており、最近では、EM活性液にも取り組まれています。ぼかし肥料と一緒に畑にまくと作物の育ちが良くなるなど、これからのことには使えるか工夫を重ねられています。

「自然にいいと聞けば、すぐに情報を集めて、年に一回は研修旅行に出掛け、楽しく活動しています。口に入っても大丈夫なもの、飯豊町だけでなく、もっと広めていけるようにがんばっていきます。」と話してくださいました。



粉石けんを作っている様子

遊芽一座（白鷹町）

代表 高野節子さん

遊芽一座は、18名で、今年で活動10年目を迎えられました。町の課題を取り上げ、寸劇で分かりやすく伝えることにより、多くの人に現状を理解してもらうことを目標に活動されています。昨年の春から環境問題に取り組みようという事で、ごみの分別の仕方を題材にした寸劇をされています。「ごみの分別は、細かくてなかなか分かりにくいところもあるので、そんな地域の



荒砥高校で寸劇をしている様子

疑問に答えるべく寸劇で楽しく理解していただけたら」という思いでされています。

「各地域で会合が開かれる際、ちよっとの時間をいただければいいか」と呼びかけをして、昨年度は7回上演され、今年も第1回目の上演は、荒砥高等学校の授業中に環境問題の寸劇をされました。

「環境への取り組みは一人一人の取り組みが大事ですので、これからも地域の中に入って少しずつでも広めていくことができればと思っています。」と話してくださいました。

# 置賜 風俗 賜 遺跡 再 発見 自然 見

郷土 芸能  
第8回

ふるさとへの心をさぐる

次の世代に残したいもの  
いつまでも語り継がれていくもの  
家族や地域をつなげるきずな  
はじめて出会ってもなぜか懐かしさを感じる  
遠い記憶のどこかにある情景  
それは私たちの「ふるさと」にあります

置賜広域行政事務組合では、置賜圏域を活力に満ちた地域にしていくための事業として、3市5町と連携しながら「広域的交流活動の促進」や「広域的人材の育成」をテーマとしたソフト事業を実施しています。

ここでは、その事業の一つである「ふるさと再発見事業」の一環として、置賜圏域ならではの地域資源をシリーズで紹介していきます。  
第8回目は「置賜の獅子たち」です。夏のお祭りを盛り上げる獅子舞と獅子踊を堪能してみませんか。

## 置賜の獅子たち

獅子頭を付けての舞踊には、獅子頭に大きな幕を付けて、2人以上が入って踊る「獅子舞」と、1人が獅子頭を付けて、数人で組になって踊る「獅子踊」があります。置賜地方には、たくさんさんの獅子舞と獅子踊があります。これらの獅子舞と獅子踊は地域行事の中で大切に守られ、今日まで伝わってきました。今回は、獅子舞と獅子踊を地域づくりという観点から探ってみました。

## 獅子舞

獅子舞が中国から日本に伝わったのは、今から約1,200年前といわれています。現在、置賜地方には、長井市と飯豊町の黒獅子、白鷹町と南陽市の赤獅子、川西町には黒獅子と赤獅子が両方あったりと、各神社

でまんべんなく獅子舞がなされている地域は、全国的にも珍しいと言われています。その中で、代表的な獅子舞として、「長井市の黒獅子」と「飯豊町の荒獅子」を紹介します。

## 長井市の黒獅子

長井市には、約45組の獅子舞があります。昔は「おしつさま」「おしさま」と呼ばれていましたが、近年は「黒獅子」とも呼ばれています。幕は、波しぶき模様で、獅子頭は、黒塗りで、目玉が丸く飛び出し、眉が目玉の後方まで下がっているのが特徴です。口が60度前後に開いて、パシーンパシーンともものすごい音打ち音をさせながら舞います。じぐざぐに水の中を泳ぐような水流式の舞い方で、ゆったり舞う獅子と激しく舞う獅子とそれぞれの神社で舞い方

は異なります。神社に帰りがたがらない獅子と警護が力比べを行う「警護係」も特徴です。神社ごとに獅子連があり、地元の若い人や獅子が好きの人が入っています。子供たちも、太鼓や笛などの鳴り物で、獅子連に参加しています。



長井市の黒獅子

## 飯豊町の荒獅子

飯豊町には、長井市から獅子舞が広まってきて、6組の獅子舞があります。集落の若者が長蛇になって暴れ舞う獅子と、村一番の力持ちが刀



飯豊町の荒獅子

比べを行うところから、これらの獅子は「荒獅子」と呼ばれています。幕は、水しぶきと山林を表している模様の種類があります。獅子頭は、長井市と同じで、黒塗りで目玉が飛び出しています。舞い方は、自分の後ろを振り返りながら山林を歩くような水流式と、じぐざぐに水の中を泳ぐような水流式の舞い方があります。頭を叩くように振ることが多く、長い髪がなびいて美壮的に見えるのが特徴です。飯豊町も長井市と同じで、神社ごとに獅子連があり、子供の頃からやってみた人が自分から入り、地元の若い人は、だいたいの入っています。

## 地元の獅子踊を知って

体験してもらいたい

梓山獅子踊保存会会長  
梅津 幸保さん

保存会では、地元の伝統芸能を知ってもらい体験してほしいと、平成2年から梓山地区の小学生の児童30人を集めて、上組と下組の子供たちがすぐ覚えられ踊りを選び、踊っています。夏休みに入ってから、梓神社境内で午後5時半から8時半までの練習を5回しています。8月16日には、保存会と一緒に子ども獅子踊を披露しています。「小学生が一生懸命獅子踊をしている姿が、とてもよかった。」と地元の人や見に来た観客から大変好評です。梅津さんは「小学生時代に少しでも地元の獅子踊に触れ、自ら踊ったことで、中学生、高校生、社会人になっても続けてくれればと思います。これからは後継者の育成に力を入れていきたいです。最近では、みなさん仕事の時間帯が違い、地域の人と顔を合わせる機会が少なくなりました。獅子踊の練習があれば、みんな集まってくるので地域の人と顔が見えてきます。そういうところが、地域づくりにつながっていきますね。青い田んぼの中をきれいな獅子踊の行列が進む光景も見物です。梓山獅子踊りを、ずっと伝えていきたいですね。」と話してくださいました。



子ども獅子踊

### ◆お待ちしております◆

シリーズ置賜再発見では、置賜の風俗、遺跡、史跡、自然、郷土芸能などを紹介する予定です。

みなさんからの情報をお待ちしております。

置賜広域行政事務組合総務課企画係

〒992-0012

米沢市金池三丁目1番55号

TEL 0233(23)3246

FAX 0233(24)4659

メールアドレス kikaku@okikou.or.jp

取材協力及び写真を提供いただきました。  
志田芳弘さん(長井市)、二瓶幸基さん(飯豊町)  
梅津幸保さん(米沢市)

## 獅子踊

獅子踊は、江戸時代の初め頃から東北地方で行なわれるようになったと伝えられ、現在、置賜地方には、代表的なものとして米沢市の梓山獅子踊、綱木獅子踊、川西町の小松豊年獅子踊、小国町の舟渡地区の舟渡の獅子踊などがあります。これらの中から米沢市の梓山獅子踊を紹介いたします。

### 米沢市の梓山獅子踊

米沢市万世の梓山地区に伝わる梓山獅子踊は、上組、下組の二つがあります。上組では、「梵天舞・花菱舞・鶏徳舞」の三庭(曲目)があり、男性的な激しい動作で踊ります。下組では、「大和舞・春日舞・三笠舞」の三庭があり、女性



米沢市の梓山獅子踊

的な優雅な立ち振る舞いで踊ります。獅子頭は、頭にのせて踊るため出来るだけ軽くし、紙の張りで作っています。上組では、頭の上に獅子頭をのせ、顔の回りは黒い布で覆います。下組では、獅子頭を頭にすっぽりかぶり、獅子の口の中から周りを見ます。獅子踊を踊る前の行列の豪華さも特徴の一つです。提灯、大籠、田楽籠、花籠、杵形、唄方、獅子、太鼓、後纏など

### 獅子による地域づくり

長い行列になります。上組と下組が一緒になった梓山獅子踊保存会には、地元の人50人程が参加しています。保存会では、小学生の「子ども獅子踊」の指導もしており、後継者育成にも取り組んでいます。

獅子舞と獅子踊は、家族みんなで楽しめる地域行事として地域を盛り上げ、地域の輪を広げています。お祭りが近くなると、各神社や公民館などに週に何回か集まって練習し、先輩から後輩へと代々技術を伝えていきます。これらの活動は、子供の頃から参加して、先輩後輩の関係や、自分勝手なこととはできない中で、子供を育てる教育の場にもなっています。伝統芸能を守ることは、子供を守ることに繋がっています。笛



梓山獅子踊の行列

や太鼓の音を聞くと、男性だけでなく女性も子供も、ソワソワと落ち着きがなくなってくるくらい、楽しみな地域行事であり、地域に根ざしています。

これからは、獅子舞と獅子踊をおとして、地域づくりを行っていくことで、すばらしい伝統芸能を伝承していきましょう。

7月議会臨時会を開催

去る7月27日に本組合議会臨時会が開催されました。

この臨時会では、平成17年度一般会計率続費繰越計算書が報告され、専決処分事件が原案どおり承認されました。

また、人事行政の運営等の状況の公表に關する条例及び最終処分場跡地利用公園の設置及び管理に關する条例の設定のほか、事務局設置条例及び死亡獣畜保冷施設設置条例の一部改正についても原案どおり可決されました。

なお、継続審査となっていた次の請願が審議され、採択されました。

千代田クリーンセンター搬入路の改良工事について

(請願者 東置賜郡高島町大字夏茂848 夏川部落長 菊地 儀一)

「自然と文化豊かな創造的交流都市圏 おきたま」を目指して

置賜地域は、平成6年9月に地方拠点都市地域の指定を受け、その後、平成7年7月に山形県知事から承認を受けた概ね10年間を計画期間とする基本計画について、平成17年度において変更し、去る3月31日付けで山形県知事から承認を受けました。

この変更基本計画では、将来像を前計画同様「自然と文化豊かな創造的交流都市圏おきたま」とし、6つの拠点地区と重点的に整備する事業について、これまでの達

成状況や事業の進捗状況を整理するとともに事業の整備効果を検証しながら、基本計画の見直しを行いました。主な整備内容として、これまでの基本計画において未着手となっている事業について着実に整備を進めるとともに、米沢オフィス・アルカディアへの企業誘致を進めることで多様な就業機会を創出し、中心都市米沢市とそれを補完する長井市、南陽市における都市機能及び居住環境の整備を図り、若者やUJターン者の受け入れと定住を促進します。さらに、道路網や情報網の整備を図り、地域内外との地域間交流をより活性化させ、「職・住・遊・学」の機能に志じた整備を着実に進め、拠点性の向上に努めていきます。

リサイクル自転車・家具類を無償で

提供します

千代田クリーンセンターのくりえいと工房では、年4回、不要になった自転車、家具類を修理再生し、住民の皆様へ、無償で提供しております。

提供は抽選となっており、置賜にお住まいの方なら、どなたでもご応募いただけますので、くりえいと工房にお越しになり、再生品をご覧ください。

今年度の提供の計画は次のとおりです。

第3回 8・9月期  
展示期間 8月1日～9月2日  
抽選日 9月8日

第4回 10・11・12月期  
展示期間 10月3日～12月2日  
抽選日 12月5日

○お問い合わせ先  
千代田クリーンセンター 施設第二係

TEL 0238 (57) 4004

浅川ふれあい公園の一助に

4月21日に、加科常男さん(米沢市万世町梓山)より、金百萬円の寄付金をいただきましたので、理事長安部三十郎米沢市長より感謝状を贈呈いたしました。理事長との懇談の中で、加科さんは、「ごみ処理場の跡地に桜と緑豊かな自然の中で気軽にピクニック、野外活動を散策が楽しめる住民の交流促進を目的とした土地再生事業「浅川ふれあい公園」建設の一助にと思いました。」と話してくださいました。



浅川ふれあい公園まもなく完成

サッカーやソフトボールなどが楽しめる多目的グラウンド、ベンチやスプリング遊具などが設置してある緑の交流広場、オオヤマサクラやサトサクラ・ソメイヨシノなどが楽しめる桜ふれあい広場がある浅川ふれあい公園の建設工事が順調に進んでいます。10月から利用できる計画で進んでいます。桜ふれあい広場と緑の交流広場が芝生の養生をしなければならぬため、今年の利用範囲は、多目的グラウンドと散策路のみの利用となります。



# おきたまごよみ

## 8月 (葉月)

- 二旬～10月上旬 観光ぶどう狩り  
(南陽市観光ぶどう園)
- 14日 「中獅子踊り」 (飯豊町中地区)
- 14～23日 大相撲東関部屋小国合宿  
(小国町東芝セラミック機相撲場)
- 15～16日 たかはた夏まつり  
「青竹ちょうちんまつり」  
(高島町昭和縁結び通り・まほろば通り)
- 16・27日 「小松豊年獅子踊り」  
(川西町大光院、諏訪神社ほか)
- 16～17日 萩生諏訪神社神輿渡御行列  
(萩生荒獅子まつり)  
(飯豊町萩生地区)
- 17日 プロ野球イースタンリーグ選手権試合  
「楽天ゴールデンイーグルス」対  
「読売ジャイアンツ」戦(米沢市菅川球場)
- 17～22日 米沢市平和都市宣言事業  
「戦争と平和展」  
(米沢市民ギャラリー・ドリーム)
- 19日 フレンドリークラシック2006「フランス  
音楽の夕べ～エスプリの恋遷を辿って～」  
(川西町フレンドリープラザ)
- 20日 出張!なんでもお宝鑑定団  
(長井市民文化会館)

## 9月 (長月)

- 1～3日 プラザ演劇祭2006「アマチュアイズム」  
(川西町フレンドリープラザ)
- 2日 地酒と黒べこまつり (川西町置賜公園)
- 2日 めざみの里まつり (飯豊町「あーす」)
- 9～10日 赤湯温泉ふるさと祭り  
(南陽市赤湯温泉通り)
- 10日 山形県能楽の祭典  
(米沢市置賜文化ホール)
- 10日 うきたむし文まつり  
(高島町うきたむし風土記の丘歴史公園)
- 10日 浜田広介記念館・人形劇フェスティバル  
(高島町浜田広介記念館)
- 12日 ダリヤカップMTB大会  
(川西町内山沢特設コース)
- 14日 加藤登紀子コンサート  
(米沢市置賜文化ホール)
- 15日 安久津八幡神社祭礼(秋まつり)  
(高島町安久津八幡神社)
- 16日～17日 ロボワン全国大会 (長井市タス)
- 17日 高島町ロードレース・まほろばマラソン  
大会 (高島町役場前)
- 17日 第41回若鮎マラソン大会  
(白鷹町蚕桑小学校)
- 22～24日 東北ダリヤ名花展 (川西町ダリヤ園)
- 22～24日 第30回白鷹鮎まつり  
(白鷹町ヤナ公園)

- 23～24日 おきたまの秋まつり・おしょうし  
な感謝市 (米沢市伝国の杜)
- 23～24日 第15回しらたか伝統工芸の村まつり  
(白鷹町伝統工芸の村)
- 24日 大江健三郎講演会 (長井市民文化会館)

## 10月 (神無月)

- 1日 夕鶴の里 民話まつり (南陽市夕鶴の里)
- 7～9日 ヤナ豊漁感謝祭 (白鷹町ヤナ公園)
- 8日 組文まつり (長井市古代の丘)
- 8～9日 オペラ「ゼッキンゲンのトランペ  
ット吹き」 (長井市民文化会館)
- 9日 第6回米沢おしょうしなハーフマラソ  
ン大会 (米沢市菅達上競技場)
- 9日 南陽さわやかマラソン大会  
(南陽市中央花公園)
- 15日 長井マラソン大会  
(長井市生涯学習プラザ)
- 16日 国立サンクトペテルブルグ・アカデミー・  
バレエ「白鳥の湖」全幕  
(米沢市民文化会館)
- 21日 緒方拳ひとり舞台「白野」(しらひの)  
(川西町フレンドリープラザ)
- 21～22日 第12回米沢市産業まつり  
(米沢市営体育館)
- 22日 クラシックカーレビュー in たかはた  
(高島町昭和縁結び通り・まほろば通り)
- 22日 飯豊運峰紅葉ジョギング大会  
(小国町小玉川小学校周辺)
- 29日 黒沢峠まつり (小国町黒沢峠)
- 29日 古田歌舞伎・沖小歌舞伎合同公演  
(小国町沖庭小学校)

## 11月 (霜月)

- 3日 いいで秋の収穫祭・環境フォーラム  
(飯豊町「あーす」)
- 5日 第45回全日本50km 競歩高島大会  
(高島町昭和縁結び通り)
- 6日 マイクロマウス全日本大会 (長井市タス)
- 18日 めざみの里音楽祭 (飯豊町「あーす」)
- 19日 山形交響楽団米沢演奏会  
(米沢市置賜文化ホール)
- 中旬～1月上旬 吉野イルミネーション  
(南陽市吉野地区)
- 22～26日 全日本写真展 (長井市民文化会館)
- 23日 県少年少女合唱団合同発表会  
(高島町文化ホール)

## 12月 (師走)

- 19日 聖夜のトランペット～モーツァルト・  
イヤー特別版～ (米沢市置賜文化ホール)

小国町温身平が我が国初の  
「森林セラピー基地」に認定されました

林野庁などによる森林セラピー・ステアリングコミッティ（大井玄委員長）では、森林浴による適やし効果を求める場所として、ストレスホルモンの濃度などによる生理実験や宿泊施設の整備状況などから、小国町温身平（ぬくみだいら）を我が国初の「森林セラピー基地」に認定しました。

■温身平の概要

小国町の737.55平方キロメートルにおよぶ町土の約95%はブナを中心とする落葉広葉樹林が広がり、飯豊・朝日連峰が南北に展開しています。ブナの樹皮が白いこと、雪が深いことから「白い森の国」と町の名を別名で呼んでいます。

温身平は、磐梯朝日国立公園区域にあり、美しいブナの原生林に囲まれた溪流沿いの地区です。溪流の音を聞きながらブナ林の中を散策できる平坦な歩道があり、胸高直径1m・樹高30mを越える大木も多く、原生林の面影を残しています。

沿道には「森の巨人たち100選」にも選ばれたヤチダモの大木があり、飯豊山系のすばらしい景観を眺められる視点場もあります。

○問合せ先

小国町役場総務企画課 地域振興室  
TEL0238 (E2) 2264



ロボワン全国大会が開催されます

「ロボワン」とは、二足歩行ロボットによる格闘技大会です。製造業で発展し「ものづくり」のまちとして知られる長井市を会場に、全国から集まった選りすぐりのロボットたちが熱い闘いを繰り広げます。試合のおもしろさはもちろん、すばらしい技術やエンターテインメントが披露されますので、ぜひご覧ください。

◆いつ

9月16日(土)～17日(日)

◆どこで

置賜地域地場産業振興センター (タス)

◆問合せ先

長井市商工観光課企業振興係  
TEL0233 (84) 2111内線612



千代田クリーンセンター  
リサイクルプラザからのお知らせ

資源ごみとして収集されているごみの中には、リサイクルに適さないもの(不適物)が混入しており、全体の約30%を占めています。中でも、容器包装ではないおもちゃなどのプラスチック製品や医療ごみなどが多く見られます。また、買い物袋などに入れたごみも中身を判別できないため、不適物として扱われます。

実際に資源ごみとして搬入された不適物の一部を紹介します。今後もより一層分別にご協力くださいますようお願いいたします。

資源ごみではないもの(不適物)



広域広報 **おきたま** は

年に2回(8・12月)発行です。

広域広報おきたまへのご意見・ご感想をお待ちしております。

〒992-0012

山形県米沢市金池3丁目1番55号  
置賜広域行政事務組合総務課企画係  
電話 0238-23-3246  
FAX 0238-24-4659  
E-mail kikaku@oki-kou.or.jp  
URL http://www.okikou.or.jp/